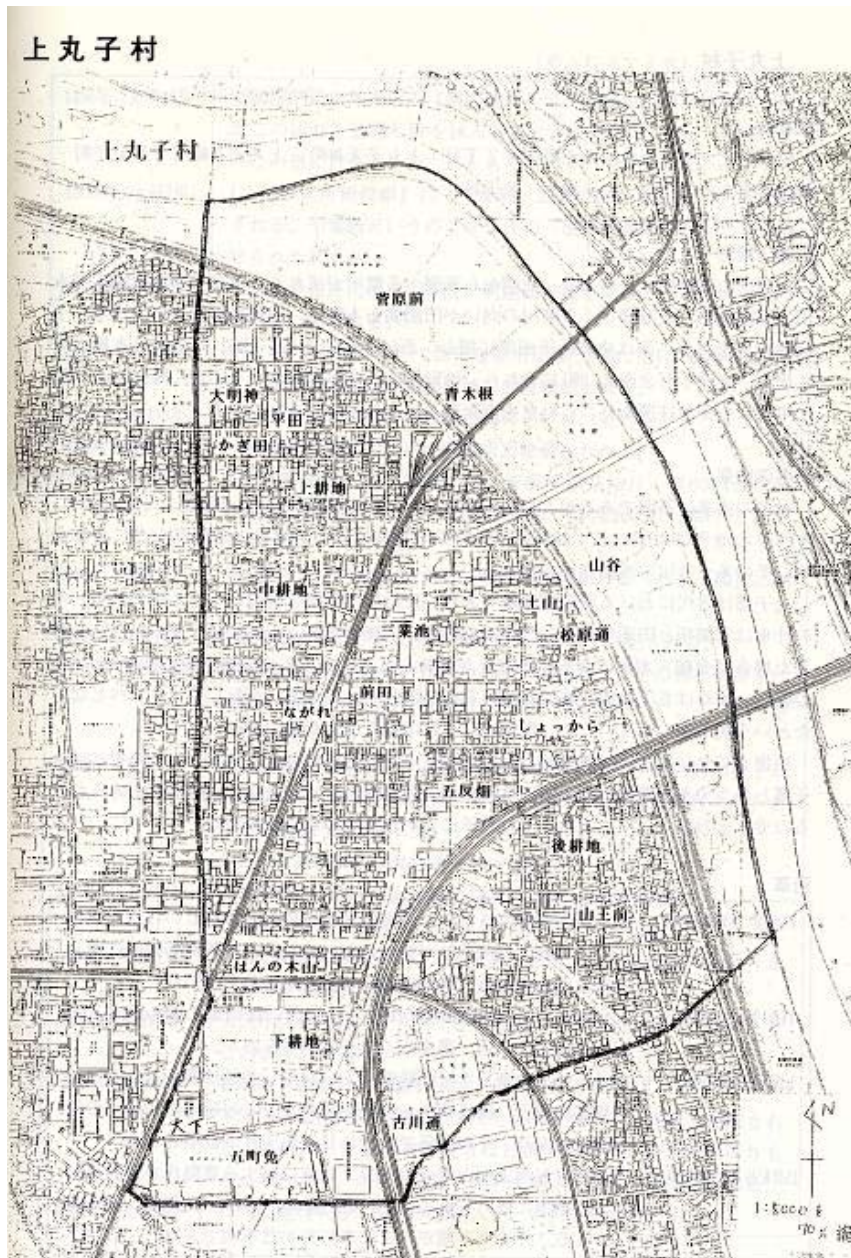


## 「上丸子・歴史街道」 川崎市中原区上丸子周辺の歴史散策

川崎市中原区上丸子周辺は、中原街道を中心に江戸時代から栄え、古くからの社寺もあり歴史を感じる散策が楽しめます。



上丸子村 『川崎地名辞典 上』 日本地名研究所／編（川崎市） p 201 より  
現在地 中原区上丸子・上丸子山王町1・2丁目・上丸子天神町・上丸子八幡町・  
新丸子町・新丸子東1～3丁目・丸子通1・2丁目

○中世までマリコと呼ばれたが、近世以降マルコの音にかわっている。土地の間では最近まで、かんまりこ（上丸子）と呼ばれていたが、大正15年（西暦1926年）東横線の駅名が新丸子（しんまるこ）となるとともに、新住民の間にカミマルコが定着したと思われる。

○古く丸子部（マリコベ）の居住にちなむ地名と思われる。丸子部は、古代における服属型部民であり、その仕事は開拓と防衛の仕事、俘囚の馴致、運輸業務、椀子部（マリコベ）と考えられた場合は金椀・木椀の食器作り等などが考えられる。



写真 日枝神社



写真 大楽院

山王社 日枝神社（上丸子山王町） 大楽院（上丸子八幡町）

・大同4年（西暦809年）

延暦寺より丸子の庄僧鎮守として分かれ、桓武天皇の孫の僧都・恵恒（えごう）によって、山王社（山王権現 大楽院）と称し創設された。

・正中2年（西暦1325年）

天台宗の『三千院文書』の中に、三千院門跡の承鎮法親王が尊雲法親王に寺領、寺院などを譲与したときの譲状が入っている。その中に同門徒が管掌していた武蔵国丸子庄がでてくる。丸子庄は、比叡山横河（よかわ）の慧心（えしん）院領となり、当地に日吉山王社が勧請される。

・文明5年（西暦1473年）

扇谷上杉氏の大田道灌が武蔵国東部を攻めた時、山内上杉氏の長尾氏が丸子城跡にたてこもる。大田道灌の扇が、日枝神社に残る。

・元龜元年（西暦1570年）

真言宗豊山派大楽院の釈迦如来の胎内に世田谷と蒔田（まきた）を所有した吉良氏朝の家臣名等が記される

・天正15年（西暦1587年）

北条氏朱印状に、北条五代氏直により上丸子郷が後北条氏の直轄領に編入されたことを意味する文面がある。





写真4枚 丸子山王祭

8月15日は大神輿の渡御、丸子連合九町を渡御する。会夕刻には大神輿は神社に戻ってくる（平成21年8月15日撮影）



写真 大杉 樹齡から考えると、山王社は丸子の庄の中心的存在であったと考えられる。  
写真 えんま堂（上丸子八幡町）大水で渡船できなかった亡がらを葬ったと伝えられ、大楽院の墓地となっている。

### 青木根集落・「松原通り」(丸子通1丁目) 丸子の渡し

○徳川氏の江戸入府後、相模国中原御殿に通じる相模街道を慶長9年(西暦1604年)に整備して中原街道とよぶようになる。そのころより大貫市郎兵衛が渡船業をはじめ、脇街道の渡し場の通りとして「松原通り」が村の中心となり、北向観音の縁日も盛んであった。江戸時代は船4艘で渡船、10月から3月は土橋が架けられた。大正9年多摩川の堤防工事のため集落は移設。昭和10年に丸子橋が完成すると、渡しはその役割を終えた。



写真 丸子の渡しの碑



写真 多摩川河川敷と丸子橋

丸子橋は地元の悲願の架橋だった。



写真1枚 丸子の渡し復活イベント (平成21年11月15日撮影)





写真 現在の北向観音

現在は大楽院境内。江戸時代より中原街道沿いの松原通りに安置され旅行く人々の信仰を集めた。北を向いておられる観音さまはめずらしいのでいつしか北向観音と呼ばれる様になり道路拡張により大楽院に移転安置された。



写真：左 丸子橋派出所近くよりかつての松原通りを多摩川にむけてのぞむ  
かつては白壁の蔵がのこっていた。

写真：右 丸子の渡しから松原通りをのぞむ



**写真** 八百八橋（現在は日枝神社境内）

明和2年（西暦1765年）に上丸子村肥料問屋ほしか屋の野村文左衛門が中原街道すじを中心にかけたといわれる。

### 三業地（料理屋、待合、芸者置屋）の進出

大正時代初期まで江戸近郊の保養地としての丸子には、川魚料理の鈴半、玉屋、柏屋などが主な飲食店であった。大正14年（西暦1925年）に、丸子園が、川遊び・へちま風呂・広座敷を看板に開店し、花火大会を始めるなどでにぎわった。昭和40年代には消滅した。

### 田園都市

東横線開通で、「新丸子」駅の西側3万坪の地が「田園都市」として売り出される。

#### 〈参考文献〉

「待望丸子橋」安藤安（中原町長）著（昭和8年）

「中原町誌」安藤豊作著 中原青年団（昭和8年）

「中原街道」川崎市立稲田図書館（昭和46年）

「わたしたちの町 上丸子」川崎市立上丸子小学校（昭和52年）

「川崎 新中原誌」新中原誌刊行会（昭和52年）

大日本地誌大系9「新編武蔵風土記稿」第3巻 雄山閣（昭和56年）

日本地名研究所編「川崎の町名」川崎市（平成3年）

日本地名研究所編「川崎地名辞典」（上）川崎市（平成16年）

「丸子山王日枝神社御鎮座千二百年記念誌」丸子山王日枝神社御鎮座千二百年記念事業実行委員会（平成21年）

「写真で綴る中原街道と周辺の今昔－多摩川から南武線まで－」羽田猛著（平成21年）

「東京横浜電鉄沿革史」大正期鉄道史資料第2集12巻 日本経済評論社（昭和58年）